

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日作成

事務事業名		福祉会館管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	古武城 卓					
	施策	16	高齢者・障害者の自立促進と社会参加	所属課	福祉課	担当者名	狩野紀彦					
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進	所属班	社会福祉班	(内線)	2136					
法令根拠	合志市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例 合志市福祉会館設置条例											
予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	2	事業連番	10431	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 12 コスト削減優先度評価結果 6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)											

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 ①合志市福祉会館の管理運営業務を指定管理者(合志市社会福祉協議会)に委託し、委託料を支払う。
 ②福祉会館利用料の集計及び納入
 ③9月より指定管理を外し、直営として管理運営する。4月1日より風呂の使用を停止する。
 【業務の流れ】
 契約は平成18年度に結んでおり、平成21年9月末までとなっている。契約書の内容に沿って合志市社会福祉協議会に管理をしてもらう。その他、福祉会館使用料は市に納入することになっているが、平成20年度より生涯学習課で使用料を集計し会計課へ入金をする事とした。指定管理者の選考に伴う福祉会館の方向性の検討を行い、9月より直営とした。

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成21年度指定管理指定に伴う関係機関との協議をし9月から直営方式とした。その他は9月までは20年度同様。	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)		
①合志市社会福祉協議会と年度協定書を交わし、福祉会館の管理業務を契約した。		
②福祉会館使用料を納入した		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) H ア 委託料に関する予算執行事務に要する時間 イ 福祉会館使用料 円
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 団体 ア 指定管理者への申込み団体 イ 館の利用者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	民間事業者の能力やノウハウを幅広く活用することにより、創意工夫に富んだ公の施設の管理運営ができるようになる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 件 ア 苦情の件数 イ 館の修理金額 円
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	施設を利用する市民へのサービスの向上と公の施設の管理費用の削減を行う。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 人 ア 地域支援事業利用者数 イ

(2) 総事業費・指標等の推移												
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円									全体計画 ~ 年度 (期間限定複数年度のみ記載) 総トータルコスト
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円	415	415	415	415					
		繰入金	千円									
		一般財源	千円					419	838	838		
	(A) 事業費計	千円	415	415	415	415	419	838	838	0		
	うち指定経費	千円										
	うち時間外、特殊勤務手当	千円										
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	2	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	20	20	50	50	100	100	50			
	(B)人件費計	千円	79	80	199	199	398	398	199	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	494	495	614	614	817	1,236	1,037	0		

活動指標	ア H イ 円	30 1200	30 1200	25 1200	25 1080	40 0	40 0	20 0	目 標 数 計 画 値 画 22 年度
対象指標	ア 団体 イ 人	1 12000	0 15000	0 15500	0 16000	0 16000	0 16000	0 16000	
成果指標	ア 件 イ 円	10 98000	8 8400	7 0	7 0	15 100000	10 100000	8 100000	
上位成果指標	ア 人 イ					1520	2000	2500	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成18年度より公の施設の管理に関し指定管理者制度を導入した。平成21年度より直営に戻す。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・指定管理者である社会福祉協議会は、高齢者世帯、母子世帯、傷病世帯等の増加や地域福祉への関心の高まりから、社会福祉協議会によせられる期待は大きく、その役割も重要なものとなっている。
 ・平成18年度より合志市でも指定管理者制度が導入され、民間活用を図るようになった。
 ・福祉会館の充実を図るため、平成21年度より直営とし地域福祉支援事業を社会福祉協議会に委託し実施する。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・合志市社会福祉協議会の活動拠点としては、ふれあい館、みどり館と福祉会館があり、3施設とも合志市社会福祉協議会が指定管理者となっている。特に旧合志地区においてはみどり館と福祉会館の2施設があり、サービス拠点の一本化を検討されている。
 ・指定管理者制度における利点等についての質問が議会でなされた。
 ・平成21年度指定管理更新のため20年度より指定管理における方針を明確にする必要がある。

事務事業名	福祉会館管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 合志市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例第1条により、福祉会館を指定管理にしており意図に結びついている。平成21年度より直営に戻すが市民へのサービスが充実する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 指定管理を導入することにより公の施設としての役割を果たしながら予算の削減を図ることができた。直営に戻すが風呂の利用の停止を行い、削減が図られる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 民間が持つノウハウを活用することにより、サービスの向上が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 福祉会館の運営が成り立たなくなるので、住民福祉が満たされない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 福祉会館は総合センターヴィーブルの内にあるため、総合センター全体としての活用・運用を検討し、平成21年9月より直営とする。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 福祉会館の指定管理の場合、消耗品等の経費のみを委託料に当てているので削減の余地は無い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 契約等既に交わってあり時間の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 随意契約により契約を交わっており公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成20年度は社会福祉協議会に指定管理を委託したが、平成21年9月より直営に戻し、地域福祉の核としての位置づけを館に持たせていく。 ①目的妥当性については、適切。 ②有効性については、適切。 ③効率性については、適切。 ④公平性については、適切。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 合志市社会福祉協議会の活動の充実を図ることにより、施設利用者の増加と福祉サービスの向上につながる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下	○		
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下	○																

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

契約期間終了後の指定管理者の対象の見直しを要したので、直営に戻し地域福祉支援事業の拠点とする。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)